



和以輪為 会津

ーわいわい あいづー

ボーイスカウト会津地区広報誌 第43号



「和をもって貴しとなす」(以和為貴)の一字を変えて「みんなで輪をもって仲良く進む」

会津地区

令和元年11月15日 県連先達(元県連副連盟長)赤城良一さんが永眠いたしました。会津若松第1団より思い出の文が寄せられましたので、掲載いたします。

「道心堅固」

ボーイスカウト会津若松第1団 赤城 圭一

令和元年11月15日 伯父 赤城良一(よしかず)が永眠いたしました。会津地区の皆様には生前のご厚情に対し厚く御礼申し上げます。

伯父は、昭和4年8月に新潟県津川町に生まれ、小学校入学とともに、会津若松市北小路に移り住み、小学校4年生の時に第二白虎少年團(城北小)に入団し活動しました。少年團とは現在のボーイスカウトの前身で、システムが現在とは随分違いますが学校単位で展開されていたスカウト活動です。

入団時に飯盛山の白虎隊の墓前で「ちかい」を立て、その夏に十分な訓練を受けないまま、小石ヶ浜で初めてのキャンプ。2日目の夜中、激しい雷雨に見舞われ、心細い思いをしている中、テントの支柱が、ぽっきり折れてしまい、テントの下敷きになってしまいました。心細い思いをしている中、6年生の班長が、いち早くテントを飛び出して、本部に行って替わりの支柱をもらってきて、テントを建て直し、この時、改めて班長の逞しさを実感したことが、伯父のスカウティングの原点でした。

昭和22年、会津中学校を卒業して、長岡工専(現:新潟大学・工学部)に入学した頃、母イマが、戦後荒廃した社会の中で、弟やその仲間たちが非行に走らないよう、子どもたちを指導してほしいと、西蓮寺御院主 秋月鏡観先生に依頼したのがボーイスカウト発足の動機になったそうです。

その年の夏休みに、若松に帰省したとき、近所の畳屋の五十嵐俊雄さん(発足当時の指導者)から「ボーイスカウトに入れんねかよ」と誘われ、戦前、白虎少年團に入っていて、その面白さを知っていたので即座に了承し、当時新潟に在学中であった伯父は、船引町船引小学校で開催された第2回指導者講習会を受け、その後実修所へ入所(当時は参加ではなく入所としていた)し研鑽を積み、昭和24年2月のボーイスカウト会津若松第1隊(現 ボーイスカウト会津若松第1団)発隊時には副長として登録。自隊はもとより新潟各地でスカウト指導および各種の指導者訓練にスタッフとして奉仕し、卒業後も、津川高校教員として働く傍らスカウト運動の発展に寄与しました。



三島通陽総長(中央)と

また、昭和27年より福島県各地に勤務しつつ、各地の指導者訓練に入所し、古田誠一郎、中村ちーやんといった名だたる日本連盟の重鎮に薫陶を受け、スカウト指導、指導者訓練のみならず、第12回世界ジャンボリーを始め、計12回の日本ジャンボリーなど各種大会の奉仕や草創期の福島連盟の確立に尽力し県コミッショナー（現 県連盟コミッショナー）理事長、副連盟長を歴任し、中央においては日本連盟中央審議会議員、全国総会（現 全国大会の前身）議長などを努め組織運営にも貢献いたしました。



渡邊昭総長（左）と

組織運営を担う中枢ではありましたが、その根本には地域の子ども達を、強く優しく逞しく育てる「スカウト教育法を活用したプログラム」を地域の大人たちが展開する「スカウト運動」に携わる一人でありたいと思っていました。現場を離れても、私と話をする時には常にスカウト達の状況、それらを取り巻く環境、指導方法の助言など、現場への関心は片時も頭から離れませんでした。そして令和の時代を迎え、齢90歳にして矍鑠（かくしゃく）としていた伯父が、大きな区切りを迎えたボーイスカウト福島連盟創立70周年の記念式典参列が公の場での最後の姿となりました。謹厳実直、沈着冷静、他への誹謗中傷を嫌い、今までに他人の悪口や感情的な叱責など、私は一度も聞いたことがありません。教育一筋に生き、正に人格者であった伯父は、座右の銘であった「道心堅固」に殉

じたスカウターでした。その功績は、平成8年藍綬褒章、平成18年瑞宝小綬章を受章し、令和元年12月 叙位 従五位の榮譽に浴しました。

こんな話を聞いたことがあります。昭和27年の秋、前出の五十嵐俊雄さんと他2名の4人で、鶴ヶ城に散歩に出かけ、芝生に腰を下ろして歓談しました。五十嵐さんは胸の病を患い、病床に臥しており、久しぶりの外出だったそうです。そして五十嵐さんは次のような話をしました。

「私は死ぬかも知れないが、私は死んでもボーイスカウトは止めない。私は死んだら小鳥か鳩になって、お寺の屋根の上から皆の訓練を見ていたい。私はあの世にはユニフォームを着て行くんだ」と。

下町のわんぱく坊主たちを育ててくれた、ハチスの先輩たちと共に伯父も鳩になって、西蓮寺の屋根の上から、私達のスカウティングを見守ってくれているでしょう。



第12回世界ジャンボリーにて（アメリカ）

会津美里第1団 活動報告

夏期野営訓練（ボーイ隊）

ボーイ隊は、8月10日～11日に新鶴の吹上運動公園キャンプ場で野営訓練を行いました。設営訓練、野外炊事をはじめとするスカウト技能や手旗、ロープワーク修得など、スカウトとして必要なスキルを磨くことができました。



野営技能はスカウトとして基本中の基本であるので、スカウト達にとっては大切な活動となりました。



夏季宿泊訓練（ビーバー隊・カブ隊）

ビーバー隊、カブ隊は、8月17日～18日に磐梯青少年交流の家の常設テントを利用し、宿泊訓練を行いました。

宿泊を伴う活動だということでスカウト達のワクワク感はピークに達し、「やくそく」と「きまり」（ビーバー隊）、「やくそく」と「さだめ」（カブ隊）

の実践となる活動ができました。1日目は、県立博物館で開催中の「こどもミニミニ博物館」に行き、午後には交流の家に入りました。2日目は、保護者や大学生になったOGにも協力をいただき、



野外炊事（カレーライス）を行い、みんなでおいしく食べました。

特にビーバー隊、カブ隊での宿泊活動は、わずか1泊でも、スカウトの成長を大きく感じる事ができる場面だと思いました。



スカウトの日の活動

ビーバー隊、カブ隊は、9月29日に本郷地域



においてスカウトの日の活動を行いました。本郷生涯学習センターの周辺の美化活動を行い、ゴミ1つにつき1ポイントとしてポイント獲得数を競い合いながら活動を行いました。終了後には、今年度のスカウトの日の缶バッジをもらえスカウト達はとても喜んでいました。



猪苗代第1団

スカウトキャンプ

6月に1泊2日、7月と8月に2泊3日のキャンプを実施しました。

6月のキャンプは、今年度の最初のキャンプで、「キャンプ生活」をテーマとし、個人装備はスカウト自ら準備し、必要なもの不要なものを身をもって体験するものでした。雨具、椅子、ヘッドライト、腕時計、替えの下着と無くて色々と苦労をし、体験をしました。キャンプ自体は設営時に雨天で、個人装備不足もあり、スカウトにはとても良い経験ができた様です。

7月のキャンプは「美味しいキャンプ」をテーマとして、鰯を三枚に捌き、厚焼き玉子を焼き「焼き魚定食」を作ったり、煮込ハンバーグカレー、鰯の味醂焼きや、オムライス、野菜炒め餡掛け焼きそば等を作りました。また、町内の基準点3種類を地形図から見つけ出し、実際に現地で探しました。

8月のキャンプは2日目のプログラム以外は

「班キャンプ」を実施しました。その2日目のプログラムは、サイクリングにて湖水浴に天神浜へ向かうものでした。途中昼食に世界スカウトジャンボリーから帰国したばかりの班長はラーメンを注文していました。昼食後、国道49号線に出ると、道の反対側にも自転車で走るユニフォーム姿の1団を見つけました。

天神浜へ到着すると、先程のスカウト達も到着しました。彼等は、千葉県連盟佐倉3団ボーイ隊のスカウトで、両隊のスカウト達には内緒で、天神浜で合流し、交歓会を計画していました。残念ながら、天神浜はイベント使用の為に、游泳は出来ませんでしたが、少年団日本連盟第一回野営大会の地碑前で交歓をし、両隊は友好隊の宣言書を取り交わしました。



今年度は、9月の福島連盟70周年の野営と、11月の野営が計画されています。多くを学び、楽しいスカウトキャンプをして行きたいと思えます。

ビーバー隊・カブ隊

8月3日、町の植栽のボランティア活動で、コスモスの種まきに参加してから、「お店屋さんで



お買い物」をしました。

亀が城公園のお城山の階段はあち

こち壊れて、石ころがゴロゴロしています。石車に乗って怪我をしないとも限りません。スカウトは、危険と思われるものをたくさん拾って本丸に向かいました。そこで待っていたのは、花屋さん、シャボン玉屋さん、飴屋さん、水鉄砲屋さん、かき氷屋さんです。お母さんたちとカブスカウトには、店員さんになってもらいました。ピーバーたちは拾った危ない石ころなどを数えました。その数だけ、ご褒美の1万円札を貰えます。さあ、お買い物の始まりです。



とても暑かったので、カブ隊のかき氷屋さんは大繁盛ですし、お花をたくさん買って、来れなかったママにお土産を持って帰った優しいスカウトもいっぱいいました。

会津若松2団 活動報告

8月4日から7日まで本願寺派スカウトキャンポリーが静岡県三島市で開催されました。箱根の山の中腹なので、野営サイトは坂道ばかり体力を使います。



2日目、今日はお念珠作りへ、午後はお箸作り、チーフリング作り、スプーン作りなどをしました。

盛りだくさんのプログラムになってます。夜遊び広場にて全国のスカウトと交流、みんな興奮していました。



3日目、合同礼拝、キャンポリー会場へ御門主様がおいでになられまして、大変ありがたいお言葉を頂きました。



本日、三島市は絶好調の猛暑です。静岡県富士世界遺産センターへ、こちらからは富士山見えませんでした。柿田川公園へ来ました。とってもきれいなお水ですよ。売店で豆腐アイスを食べクールダウン

3泊4日のキャンポリーも今夜が最後になりました。参加スカウトはどんな経験が出来たかな？。夏休みの良い思い出になってもらえれば嬉しいです。



おはようございます、早めに撤営作業終わりました。帰りのバスで少し観光して帰ります。三島スカイウォークの日本一の吊橋を渡ってみました。

会津若松1団 活動報告

会津若松第1団ビーバー隊

ビーバーのスイカの収穫

8月11日飯寺公会堂の近くの畑で、初めての経験のスイカの収穫を楽しんだ、畑にはジャガイモ、さつまいも、落花生などいろいろな野菜等が植わっていた、まだ収穫には早かったので、畑の所有者に、収穫の時期になったら、もう一度収穫の経験できるように頼んだ。今回のスイカの収穫は、



スカウトたちにとっては、有意義な経験でした。

会津若松第1団合同隊集会

台風一過の10月14日、ビーバー隊は13日の隊集会予定が延期、カブ隊は運動会日程変更、ボーイ隊は雨模様のためサイクリングのコース変更、ベンチャースカウトは部活、ローバースカウトはRCJフォーラム中止など、台風の影響で各隊のプログラム運営が難しかったので、急遽プログラムを見直し、予期せぬ団集会になりました。参加者は少なかったものの豪華な「野外料理」集会を行いました。午後からは雨でしたけどね。



2019年(令和元年)12月20日 第43号

発行：ボーイスカウト福島連盟会津地区 http://www.geocities.jp/boyscout_aizu/top.html

会津若松市西七日町8-31 田沢豊彦 内 TEL0242-24-6316

発行責任者 小野 直樹(総務委員長)

広報誌編集委員 猪苗代1団 河内玲子 会津若松1団 佐治映二

会津若松2団 沖井玲爾 会津美里1団 横山正弘